I._LAY&FUB_ベタ面チェックとクリーンアップ

レイアウトで設定したベタ面が、同じくレイアウト上のパターン、パターン回りに挿入されたエアギャップにて、分離/分割 されてしまうことがあります。データ出力の前に製作マネージャにてベタ面が分離されいないか確認が必要です。

OPUSER メインウィンドウ『PCB レイアウト』の上で右クリックし『製作マネージャ』を選択します。



『ツール/アートワーク&Pwr/GND 面』を選択します。

🚑 opusi	ER - 🖁	製作マネージ	*(回路	MAINHIE	R) (70:	ንェクト 🖭	TRY_LED_SMD]	_ 🗆 🔀
ファイル(E)	編集	レイヤー①	ツール(土)	設定(R)	マップ(<u>M</u>)	表示⊙	基板データ出力(B)	ヘルプ(円)
0.00529″	• 🕀	Q 🕢 🖬	✓ P=+D	ーク&Pwr/G	nd面(A)			X= -1.12588″ 🎈
Ш			エンフレ	-57-5050			<u>µш</u>	

レイヤー選択画面が表示されるので、『自動選択』をクリックし、現在アートワークに使用しているレイヤーを自動選択さ せます。

レイヤーブレヒ	21-						
アートワーク作	レイヤー名	ミラー反射	べタ面	基板外形象	基板外形線(全1	部品(TOP)面PMDパッド	部品(TOP)面 🔺
	COMP.PRINT						
	COMP.MASK						
	COMP.LAYER		は				
	A						
	В						
	С						
	D						
	E						
	F						
	G						
	Н						
	1						
	J						
	к						
	L						
	м						
• _	hI	1	1	1			▶
べ久領域	- スペシャル設定					自動選択	承認



[『]ネット情報/接続チェックの準備』を選択



リファレンスネット選択にて『承認』をクリック

リファレンスネットを選ぶ
SPL1
○ クサック市の他レイセーモ港
正形成小
ーボトル ネックテスト
┌── ボトル ネックチェック
-最小許習範囲
0.0050″
- 送り精度
0.001 97″ 🔹
·
承認 キャンセル

ベタ以外のパターンの色が変わります。



『リファレンスネットチェック』を選択





問題無く接続されている場合は、『エラー無し』と表示されます。『OK』をクリック

分離されている箇所がある場合、下図の様に色を分けて表示、問題の箇所を記したレポートが表示されます。『Esc』キーを 押して選択を解除し、表示された箇所をレイアウトエディタにて修正して下さい



問題がない場合、不要なベタ面を削除するべく『ベタクリーンアップ』を行います。







パターンとパターンで囲まれ、他のベタと導通していない箇所を余分なデータとして削除します。



メニュー『表示/アートワーク』から『絶縁領域作成』にチェックをいれます。



クリーンアップの際挿入された図形を確認する事が出来ます。



前述の『絶縁領域作成』にチェックを入れると、マニュアル操作で絶縁領域を挿入する事が出来ます。図形を塗りつぶした 状態で切り取る場合は、『アイテムを塗りつぶして配置』を選択して下さい。

マニュアル操作で絶縁領域を挿入した場合は、最後にもう一度『リファレンスネットチェック』を行い、ベタが分離してい ない事を確認して下さい。

